

全農提供ラジオ番組のご紹介

あぐりずむ
ニッポン **いただきます紀行**

- <https://www.tfm.co.jp/itadakimasu/>
 ●放送日：毎週木曜日 6:15～6:25
 (広島FM)
 ●パーソナリティ：川瀬良子さん



農業部

- <https://www.tfm.co.jp/lock/nohgyou/>
 ●放送日：毎週木曜日 23:00～23:06
 (広島FM)
 ●パーソナリティ：的場華鈴さん
 大和明桜さん

金曜 ZEN-NOH
COUNTDOWN JAPAN

- <https://www.tfm.co.jp/cdj/>
 ●放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送
 (広島FM)
 ●パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
 安田レイさん

～全国FM38局で放送中～



JA全農ひろしまホームページ

<https://www.jazhr.jp>

JAグループ広島 営農通信

2021年

夏号



◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②令和3年産米等の作付意向
- ③みなさんに「ご炊こう」あれ!「ご炊こうチャレンジ」の動画公開

◆ 園芸情報

- ①生産振興の取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

◆ TOPICS

- 「3-R」ブランドの普及に向けた取り組み
- 「とれたて元気市広島店」令和3年10月新店舗オープン予定!

◆ 営農支援情報

- ①JA西日本営農技術センターの取り組み
- ②労働力支援に向けた取り組み

◆ 肥料・農薬情報

- ①水稻品質維持・向上対策について～水稻高温障害対策にはケイ酸吸収が重要!～
- ②水稻本田防除の徹底について～高収量・高品質の実現に向けて～

◆ 農業機械情報

- ①共同購入トラクタ(中型)の購入生産者にインタビュー!!
- ②シーズン前のセルフメンテナンス(コンバイン)について

▲地域の鶏ふん堆肥を
活用した、耕畜連携の
米作り(世羅町)

米穀情報

① 米の需給動向

3月末時点の全中試算によると、令和3年産主食用米等の生産量は、709万トン程度と、農林水産省の基本指針で示された需要に応じた適正生産量693万トンから16万トン上回ると見通されており、主食用米の作付転換は不十分となっています。

更に、この試算では、コロナ禍に伴う需要減等も加味され、令和3年6月末民間在庫量は最大228万トン、来年6月は最大253万トンと農林水産省の基本指針を大きく上回る可能性があることを示しており、これまで経験のない厳しい需給環境となることも想定されます。

【主食用米等の需給見通し（農林水産省の資料を基に作成）】

			2/26食糧部会 農水省 基本指針	単位：万トン	3/30 全中推定
令和2 / 3 年	令和2年6月末民間在庫量	A	200	過去最大の作付 削減面積と同程 度の面積を削減	200
	令和2年産主食用米等生産量	B	723		723
	令和2/3年主食用米等供給量計	C = A + B	922		922
	令和2/3年主食用米等需要量	D	711～716		694～711
	令和3年6月末民間在庫量	E = C - D	207～212		212～228
令和3 / 4 年	令和3年産主食用米等生産量	F	693	692	709
	令和3/4年主食用米等供給量計	G = F + F	900～905	899～904	921～937
	令和3/4年主食用米等需要量	H	705	705	684～701
	令和4年6月末民間在庫量	I = G - H	195～200	193～199	220～253

(注1) 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

(注2) 【全中推定】 「令和3年産主食用生産量」は、各県設定の生産の目安からの推計

(注3) 【全中推定】 「令和2/3年主食用米等需要量」「令和3/4年主食用米等需要量」は、コロナ禍に伴う需要減を加味

② 令和3年産米等の作付意向

農林水産省が公表した令和3年産主食用米の作付意向（4月末現在）は、前年並み傾向9県、減少傾向38県であり、前年の作付面積から約3.7万ha減少の試算となりました。これは、作付転換が必要とされる約6.7万haの55%にとどまる状況です。

【令和3年産米等の作付意向（令和3年4月末現在）（農林水産省の資料を基に作成）】

	主食用米	加工用米	飼料用米	米粉用米	新市場 開拓用米	WCS	麦	大豆	備蓄米
前年より増加傾向	0県	22県	38県	20県	17県	22県	24県	23県	11県
前年並み傾向	9県	7県	4県	10県	7県	17県	12県	13県	9県
前年より減少傾向	38県	1～3%	28県	15県	3県	15県	14県	6県	9県
		3～5%	8県						
		5%超	2県						

※前年実績との比較

【参考】広島県を抜粋

広島県	主食用米	加工用米	飼料用米	米粉用米	新市場 開拓用米	WCS	麦	大豆	備蓄米
	→	↘	↗	↗	↘	→	↘	→	→

こうした先行き不透明な情勢にあって重要なことは“広島米の契約販売先を維持確保すること”です。米の需給環境が不安定さを増すなか、販売先を明確にした契約取引の拡大が重要になります。

水田活用米穀について、近年は特に県内養鶏業者の飼料用米需要に対する生産が不足しています。水田活用米穀の申請期限に向け、取り組みの拡大をご検討ください。

○JAグループ広島での新規需要米商品化



③ みなさんに「ご炊こう」あれ! 「ご炊こうチャレンジ」の動画公開

日本国内の米の消費量は近年減少傾向にあります。特に今年はコロナ禍による需要減の影響を大きく受けています。そこで全農とホクレンが中心となって「ご炊こうチャレンジ」と題し、「ごはんを炊く事」そのものを楽しんでもらえるよう、動画による情報発信をすすめています。

各産地それぞれが「ごはんを炊く」をテーマにした動画を制作し、3月29日からWeb上で一斉に配信を開始しました。お米のCMでおなじみのタレントや産地のキャラクターが登場するもの、鍋やフライパンで普段と一味違う炊き方を楽しむものなど、バラエティー豊かな動画が集まりました。各産地が制作した動画は、特設ホームページに集約し公開しています。

また、この取り組みはJAグループ以外にも広がっています。農林水産省は特設ページを開設し、同大臣出演の動画を公開中です。

広島県では、「JAお米のアンバサダー」が、おうち時間が増えた今、ご家庭でもっとおいしいご飯を食べてもらいたいという思いで、土鍋を使ったこだわりの炊き方を紹介しています。

全農は今後も米の消費拡大に取り組んでいきます。



動画はこちら ～「炊くことを楽しむ」動画を各県一斉に配信～

○ご炊こうチャレンジ特設ページ <https://noricenolife.jp/gotakou>

○JA全農ひろしま版掲載ページ <https://noricenolife.jp/gotakou/ja-hiroshima#chugoku>



■JA全農ひろしまホームページ <https://www.jazhr.jp/>

※トップページから、「広島県の農畜産物」⇒「広島のお米」と

ひろしま米

検索

JA全農ひろしまは、今後も広島県内の
お米や産地の魅力を発信していきます。

〈お問合せ先〉米穀総合課／塚本：TEL.082-431-5450
米穀販売課／山口：TEL.082-431-3000



園芸情報

① 生産振興の取り組み

■（園芸用）農機レンタル事業の開始

広島県は水田から園芸作物への転作畑が多く、排水不良が園芸作物の反収の向上の弊害になることがあります。これに対して全農ひろしま園芸課では、土壌物理性（主に透・排水）の改善による園芸作物の品質向上や反収向上、あわせて作業の効率化による生産性向上および出荷量の拡大を目的とし、農業機械のレンタル事業を開始しました。

対象となる農業機械は、以下の表1のとおりです。全農ひろしまからJAに対しては、1ヶ月単位で貸し出す予定としており、組合員の皆様のご希望に応じて、各JAから貸し出す流れとなります。

表1：（園芸用）レンタル農機一覧表

機 種	画 像	銘 柄	型 式	仕 様
トラクター・パラソイラーセット		クボタ /ニプロ	■トラクター： SL60HCQMADSEPC2P ■パラソイラー： EPS400-K	■トラクター：60PS、パワクロ仕様、 ハイスピード ■パラソイラー：4連ナイフ、カゴ車輪付
トラクター・ブラソイラーセット		ヤンマー /スガノ	■トラクター： YT225DXUKS5 ■ブラソイラー： J452BE	■トラクター：25PS、ロプス仕様、 J-change Plus、 デルタ仕様 ■ブラソイラー：2連ナイフ、スリックタイプ
トラクター・ロータリセット		ヤンマー	■トラクター YT225DXUKS5 ■ロータリ EB15S	■トラクター：25PS、ロプス仕様、 J-change Plus、 デルタ仕様 ■ロータリ：耕うん幅150cm
野菜移植機		ホセキ	PVHR2-120EL2G (ナウエルナナ)	乗用タイプ／2条千鳥植え 2.1PS 植付け 畔高さ：10～33cm 条 間：30～50cm（無段階） 株 間：18～38cm（9段階） 水平制御、かん水装置付、 セル成型苗（えだまめ、葉菜類） 植 付 能 力：3,600株/1時間
野菜運搬車		カワシマ	EC16A-HWA	最大作業能力：500kg 4.2PS 荷台内寸 全長：1,560mm、 全幅：1,440～2,240mm 最低地上高：430～780mm ゴムクローラー外幅 1,200～2,000mm

「排水不良の土壌を改善したいが、資金がない」、「短期間しか使用しない」など、購入するまでにいたらない場合には、ぜひ当レンタル事業をご検討・ご活用ください。

※機械の利用は事前予約制です。すでに機械がレンタルされていて、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。

② 青果物の販売経過および情勢

◆青果物 令和3年4月～5月までの販売経過

※金額は全て税抜

2021年（令和3年）4月は、高気圧に覆われる日が多く、日照時間はかなり多く、また平均気温も全国的に高く推移しました。好天の影響により生育は順調に進み、出荷量は前年よりも多く、特に葉物・重量作物等の販売は苦戦となり、単価安で推移しました。5月には全国的に平年よりも3週間程早い梅雨入りとなり、日照量の減少と、単月としては記録的な降雨量となりました。生育の鈍化で出荷量は減少傾向となりましたが、降雨に加え、気温の上昇も進んだことで品質低下による棚持ちの悪化もあり5月下旬ごろまで販売は伸び悩みました。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い（令和3年5月末累計）のうち、卸売市場仕向けについては、出荷重量1,600t（前年比103%）、販売金額670百万円（同100%）、単価は419円/kg（同97%）で推移しています。

■JA全農ひろしまの販売状況（令和3年4月～令和3年5月累計）

	数量		金額		単価	
	（t）	前年比	（千円）	前年比	（円/kg）	前年比
野菜合計	1,600	103%	670,197	100%	419	97%
トマト	287	112%	112,317	108%	391	97%
青ねぎ	348	97%	137,843	87%	396	90%
アスパラガス	91	103%	152,713	124%	1,677	120%
小松菜	232	95%	42,878	68%	184	71%
ほうれんそう	154	112%	60,821	107%	394	96%
きゅうり	211	110%	50,601	117%	239	106%
ばれいしょ	8	—	2,361	—	289	—
だいこん	2	50%	175	48%	96	105%
キャベツ	11	122%	577	71%	54	58%
わけぎ	51	113%	29,209	97%	570	85%
豌豆	32	82%	34,473	100%	1,061	119%
青梗菜	39	74%	11,085	74%	286	100%
ジャンボピーマン	4	100%	1,710	141%	384	112%
その他葉茎菜類	36	116%	9,392	99%	262	85%
白ねぎ	6	55%	1,975	61%	329	117%
レタス	43	86%	4,938	54%	115	63%
その他	45	132%	17,042	104%	379	78%

※JA全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん だ}神田：TEL.082-846-4708

◆5月単月の概況

【数 量】

- 5月単月の出荷量は前年と比較し、21トン減少し、前年比98%で推移しました。小松菜・アスパラガス、青梗菜等の数量が減少したことが主な要因です。
- 一方、トマト(111%)、キャベツ(150%)、白ねぎ(150%)は、前年の5月単月を大きく上回る出荷量でした。※()は前年比。
- 5月中旬での梅雨入りの影響によりそれまでの生育環境は一転し、鈍化したため出荷量は減少しました。
- 県内では、夏季にむけてトマト、ピーマン等の果菜類の出荷開始を控えていますが、梅雨の影響による不作と品質低下が懸念されます。

【金額・単価】

- 5月単月の単価については、主にわけぎやアスパラガス、きゅうりで前年を上回ったため、全体の平均単価415円/kgとなり、前月の419円/kgよりも下がったものの、前年対比では101%で推移しました。
- 5月単月の販売金額は344百万円(前年比99%)で終了しました。
- コロナウイルスによる緊急事態宣言の再度の発出等により、外食関係の需要は低調に推移しており、また、量販店での家庭用需要の拡大もほとんどみられない状況でした。

◆6月の見通し

(1) 入荷量の見通し

6月の主要野菜(14品目)の入荷量は、平年を下回る水準と見込まれます。「平年並み」と見込まれるのは、はくさい、白ねぎ、レタスの3品目です。

「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、キャベツ、ほうれんそう、青ねぎ、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、ばれいしょ、たまねぎの11品目です。

(2) 卸売価格の見通し

6月の指定野菜(14品目)の卸売価格は、平年並みの水準と見込まれます。「平年を上回る」と見込まれるのは、ほうれんそう、白ねぎ、きゅうり、ピーマン、ばれいしょの5品目です。

「平年を下回る」と見込まれるのは、はくさい、キャベツ、レタス、たまねぎの4品目です。

「平年並み」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、青ねぎ、なす、トマトの5品目です。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し(6月)

品 目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年6月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	ㇿ	=	ㇿ	↗	ㇿ	=	広島(27)、山口(25)、青森(19)、長崎(12)
にんじん	=	=	ㇿ	=	ㇿ	=	長崎(78)、熊本(18)
はくさい	=	=	=	ㇿ	ㇿ	ㇿ	長野(58)、大分(34)
キャベツ	ㇿ	=	ㇿ	↗	ㇿ	ㇿ	愛知(20)、大分(16)、広島(13)、熊本(9)、宮崎(9)
ほうれんそう	ㇿ	ㇿ	ㇿ	↗	=	↗	広島(93)
青ねぎ	↗	=	ㇿ	=	ㇿ	=	広島(72)、大分(12)
白ねぎ	ㇿ	=	=	↗	=	↗	鳥取(65)、大分(22)、海外(8)
レタス	↗	ㇿ	=	=	=	ㇿ	長野(92)
きゅうり	ㇿ	=	ㇿ	↗	↗	↗	宮崎(28)、広島(22)、佐賀(18)、熊本(17)、福岡(7)
なす	↗	ㇿ	ㇿ	ㇿ	=	=	福岡(65)、佐賀(14)、熊本(10)
トマト(ミニトマトを除く)	=	ㇿ	ㇿ	=	=	=	熊本(35)、広島(27)、島根(17)、宮崎(8)
ピーマン	ㇿ	=	ㇿ	=	ㇿ	↗	大分(36)、宮崎(25)、高知(12)、海外(10)
ばれいしょ	ㇿ	↗	ㇿ	ㇿ	ㇿ	↗	長崎(75)、広島(10)、熊本(8)
たまねぎ	ㇿ	ㇿ	ㇿ	↗	=	ㇿ	佐賀(61)、北海道(12)、山口(9)
計	ㇿ	=	ㇿ	↗	ㇿ	=	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値。
※この資料の内容は、令和3年5月25日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。
※主要野菜の入荷及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和3年5月31日 中国四国農政局生産部園芸特産課の発表内容による。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	298	90%	282	91%	310	87%	391	118%	285	79%	316	93%	240	96%	289	86%
にんじん	157	82%	214	116%	187	98%	263	138%	199	75%	239	100%	199	103%	256	106%
はくさい	293	91%	320	104%	279	85%	296	101%	247	87%	288	108%	251	101%	213	85%
キャベツ	620	112%	596	103%	548	85%	677	120%	617	103%	623	107%	591	97%	524	84%
ほうれんそう	52	75%	53	93%	50	87%	52	104%	42	84%	46	98%	43	103%	55	105%
青ねぎ	45	96%	46	102%	42	81%	44	98%	38	78%	42	90%	39	92%	44	88%
白ねぎ	42	81%	42	92%	41	88%	43	122%	37	105%	42	138%	30	103%	34	125%
レタス	198	102%	209	103%	200	86%	243	127%	196	98%	206	103%	189	92%	184	78%
きゅうり	161	91%	179	99%	226	97%	251	112%	227	91%	277	108%	247	91%	255	95%
なす	70	100%	73	119%	69	92%	72	101%	78	85%	101	126%	96	104%	90	102%
トマト(ミニトマトを除く)	99	97%	122	143%	127	100%	148	130%	128	96%	143	91%	153	89%	180	91%
ミニトマト	40	105%	49	127%	58	116%	68	152%	60	106%	60	105%	67	109%	63	88%
ピーマン	53	109%	58	116%	64	96%	76	130%	73	109%	76	115%	71	110%	79	109%
ばれいしょ	214	81%	183	83%	282	96%	174	70%	243	100%	240	99%	265	108%	315	109%
さといも	10	55%	9	70%	9	65%	9	82%	6	53%	6	64%	6	74%	5	94%
たまねぎ	489	108%	474	112%	623	108%	549	115%	431	87%	427	89%	287	100%	276	80%

資料:「広島市中央卸売市場日報」
注:平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん だ}神田:TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品 目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	61	71%	68	88%	65	83%	53	69%	59	81%	70	97%	65	86%	56	78%
にんじん	218	137%	206	126%	172	102%	131	79%	137	91%	138	98%	124	93%	106	89%
はくさい	52	55%	58	63%	59	57%	41	40%	43	42%	43	46%	46	55%	44	67%
キャベツ	59	58%	57	67%	60	66%	61	62%	71	66%	68	63%	66	62%	63	68%
ほうれんそう	252	63%	331	89%	268	65%	342	78%	428	86%	460	92%	396	89%	396	88%
青ねぎ	463	82%	405	81%	396	90%	406	97%	478	113%	494	111%	476	97%	494	103%
白ねぎ	366	120%	339	116%	344	110%	346	108%	383	111%	464	129%	450	108%	378	88%
レタス	106	60%	107	76%	111	73%	118	73%	126	76%	131	82%	132	81%	147	107%
きゅうり	301	94%	306	98%	271	102%	245	102%	249	109%	217	104%	183	92%	191	87%
なす	382	98%	381	94%	393	102%	410	107%	410	117%	396	100%	378	99%	363	98%
トマト(ミニトマトを除く)	350	91%	339	83%	352	88%	345	91%	310	86%	300	97%	297	102%	280	107%
ミニトマト	584	87%	571	84%	535	84%	495	85%	488	86%	497	99%	486	113%	471	130%
ピーマン	636	101%	594	97%	554	104%	510	113%	446	99%	437	100%	426	100%	364	108%
ばれいしょ	284	189%	314	204%	325	204%	307	178%	331	178%	315	166%	301	167%	289	170%
さといも	285	119%	294	129%	307	145%	327	136%	355	138%	369	174%	404	140%	482	127%
たまねぎ	90	87%	95	88%	85	85%	75	76%	74	74%	81	85%	88	99%	103	114%

資料：「広島市中央卸売市場日報」

注：平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

月別の天候 【令和3年5月25日】気象庁発表「向こう3か月の見通し」

6月

- ・北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・東日本太平洋側と西日本では、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

7月

- ・北日本と東日本日本海側では、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

8月

- ・北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

出典：気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん} 神田：TEL.082-846-4708

TOPICS

トピックス

「3-R(さん・あーる)」ブランドの普及に向けた取り組み



CM動画撮影時の様子

●3-RブランドテレビCM制作・放送

3-Rの生産者に協力いただき、CM動画を制作し、CM放送を実施しました。

リニューアルしたホームページにCM動画を掲載していますので、ぜひご覧ください。

3-RのHPはこちらから→



Aコープファーマーズみやうち

●「3-R」商品取り扱い店舗

とれたて元気市をはじめとしたJA産直市に加え、「Aコープファーマーズみやうち」、「コープ焼山」、「コープ西風新都」、「コープ五日市北」、「コープ高陽」でも3-R商品の取り扱いを開始しています。

「とれたて元気市広島店」令和3年10月新店舗オープン予定！



完成予想図

現在、農産物直売所「とれたて元気市広島店」は新築建替え工事を行い、令和3年10月中旬に新店舗が開業予定です。

「とれたて元気市広島店」は平成13年に開設し、現在は年間延べ52万人を超える利用者の方がご来店されています。現在の建物は、旧広島県経済連の生活物流センターを改修したもので築50年が経過し、今年は、元気市の運営開始後20年の節目にあたります。

新店舗の建物は2階建てで、1階は主に店舗、2階は全農関連の事務所・会議室等になります。売場面積は約840平米で、現店舗と比較して約2割拡大します。

現在の店舗で営業を継続しながら、同敷地内の隣接地に新店舗の建物を建設工事中であり、完成後、現在の店舗を解体し、駐車場として整備します。

全農ひろしまは、第28回JA広島県大会の決議による「農と協同の地域づくり」の実践に向け、店舗建て替えを通じて、売場の拡大による販売力強化および農業者の所得増大を目指しています。

また、県域の直売所として、県内の産地情報や、野菜販売等により、県産農産物の食べ方につながる提案等消費者に発信する機能を強化し、生産者と消費者の交流の場としての役割を向上させ、さらには、営農関連情報の発信等、JAグループの複合的な機能を備えた施設として整備します。

〈お問合せ先〉直販課／^み 藤田：TEL.082-831-1131

営農支援情報

①JA西日本営農技術センターの取り組み

JA西日本営農技術センター（以下「営農技術センター」）では、生産者や実需者のニーズに基づき、収量・品質向上にむけた対策技術の確立試験や、新しい品種導入・普及に向けた栽培技術の確立や実証、新たな生産資材などの普及性評価、スマート農業の実証研究などに取り組み、その研究成果を生産・消費の双方へ提案することにより、営農技術に関する支援をすすめています。

〈営農技術センター概要〉

住所：東広島市河内町入野11631-13（平成24年7月開設）

施設：ビニールハウス25棟5,040㎡、露地25区画17,050㎡

その他 作業棟、選別調整棟、倉庫、鉄コーティング直播棟等



JA西日本営農技術センター 実験農場全景



トロ箱養液土耕栽培システム
（ういずOne）



直播タマネギによる機械化体系実証試験



ドローンを用いた野菜分野での防除試験

上記の内容以外にも、野菜分野を中心に新たな作物・品種やスマート農業などの新技術関連の実証にも取り組んでいます。視察・研修等については、随時、受入を行っていますのでご要望がありましたら、各JAを通じ、営農支援課までご相談ください。

②労働力支援に向けた取り組み

1. 農業労働力に関する現状認識

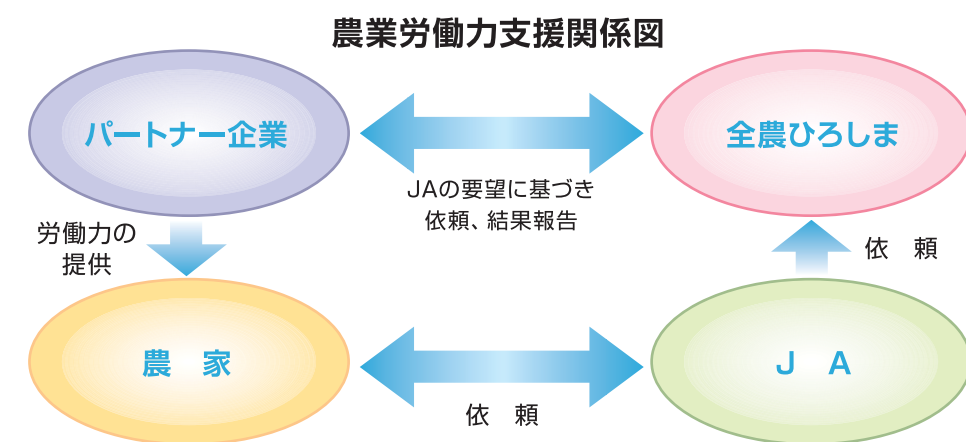
農業分野における労働力不足の実態については、政府の関連統計(2020農林業センサス)（図表1）やJA全中が実施する全JA調査でも、労働力確保、後継者育成が課題として挙げられています。

また、令和2年（2020）1月、JA広島中央会と広島県等が開催した「令和元年度農業再興シンポジウム」のアンケート結果や、JAと本会で実践中の「出向く担い手支援活動」での聞き取りにおいて、担い手が課題として挙げられる優先度の高い項目で、「リーダー不足」、「オペレーター不足（雇用）」、「構成員（出役者）不足」があり、農業労働力確保への支援が喫緊の課題となっています。このような状況の中、全農ひろしまは各JAと連携し、労働力確保支援の取り組みをすすめています。

2. 本会における農業労働力支援の取り組み

全農ひろしまは、「中国四国ブロック労働力支援協議会（令和2年4月設立）」に参画し、他都道府県の優良な取り組み事例を参考に、本県に適合する仕組み作りを検討しています。

これを受けて本県では、パートナー企業（人材派遣会社等）と連携した農作業受託の取り組みの展開を図るため、バンケットサービス㈱、㈱JT B、㈱農協観光等との調整を行い、単純作業を中心とした人材の派遣について、担い手経営体、JAへ提案を開始しています。



3. 今後の展開

担い手経営体、JAからの労働力支援のニーズに対応するため、パートナー企業を核とした人材派遣を積極的に進めるとともに、農業の魅力を消費者に知ってもらえるよう啓発活動にも取り組みます。

また、担い手経営体を中心に、労働力支援の取り組みを通じ、労働力を確保していただき、産地振興の強化、耕作放棄地の拡大防止を図ります。

〈お問合せ先〉 営農支援課／^{ひろ}平岡^{おか}：TEL.082-846-4706

肥料・農薬情報

① 水稻品質維持・向上対策について～水稻高温障害対策にはケイ酸吸収が重要！～

高温障害は①登熟期の高温化傾向のみならず、②食味重視や倒伏軽減対策から施肥量の少量化、③堆肥や土づくり肥料の未散布による地力の低下、④植え付け深度の確保不足、⑤田植時期早期化、⑥水管理(特に登熟期)のなど様々な要因が考えられます。

気温に関する要因では、出穂後20日間の日平均気温が26～27℃(日の最低気温24℃)を超えると白未熟粒(玄米の全体あるいは一部が白く濁った未熟粒)が著しく発生することが確認されています。近年、登熟期の高温条件環境が続く中、今回は高温障害対策についてご紹介します。

●高温障害発生の要因

①～⑥などの要因によりストレス

その他、助長する要因

- (1) 日照不足
- (2) 根の活力低下や根量不足による吸水能力低下
- (3) 稲体の葉色の低下(葉身の窒素含有率の低下)

●高温障害対策について

ケイ酸補給で水稻の根の活力向上(幼穂形成期以降にしっかりとケイ酸を吸収できる環境づくり)

右図のとおり、水稻は幼穂形成期頃が最もケイ酸を吸収します。

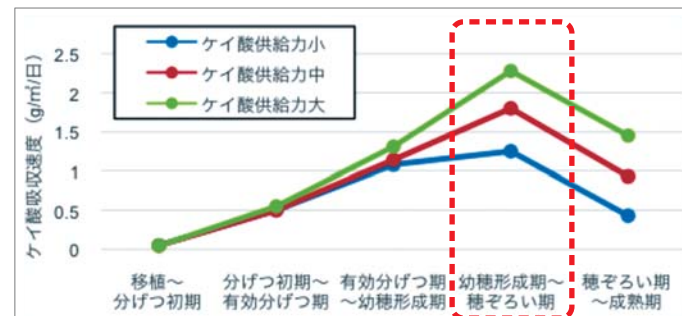
また、ケイ酸の吸収速度は、土壌のケイ酸供給力が高いほど向上します。

このことにより、根の活力が高まり障害の軽減や収量向上が期待できます。

白未熟粒の発生理由

＝籾に転流する光合成産物量の減少
(胚乳へのデンプンの蓄積不良)

図. 土壌のケイ酸供給力の違いとケイ酸吸収(森ら, 2008b)



ケイ酸資材の主な効果：光合成促進、根の活力向上、稲体の水分維持、下葉の老化防止

けい酸加里 プレミア34 粒状品 規格：20kg袋	ウォーターシリカ 粒状品 規格：15kg袋	KSK28 液体品 規格：1.4kg、4.2kg、14kg
可溶性ケイ酸34%・可溶性クド4% 可溶性加里20%・可溶性ホウ素0.1%	可溶性ケイ酸17%	可溶性ケイ酸28%・水溶性加里17%
可溶性ケイ酸と根酸によって溶け出す、可溶性加里とのダブルの効果で根の活力を向上させる。作物への吸収効率がよく、長い期間効果が持続する。	水に溶けるケイ酸主体の製品。製品を網目袋に入れ、コンテナ等を使い水口に固定し入水と同時に流しこみ施肥が可能。「水口置くだけ施用法」	可溶性ケイ酸と水溶性加里を含む液体タイプの製品。「ドローン」による散布も可能。農薬との混用不可。
20～40kg/10a	15kg/10a	ドローン：1.4 kg/10aを2倍希釈
使用時期 中干し前(出穂45～35日前)	使用時期 中干し後の入水期	使用時期 幼穂形成期以降～穂ぞろい期

※可溶性：肥料成分のうち、2%クエン酸に溶解する成分を示します。水に溶けにくく、根からでる根酸でゆっくり溶け出します。

② 水稻本田防除の徹底について～高収量・高品質の実現に向けて～

これから各地域の水稻栽培において本田防除時期を迎えますが、昨年、一昨年と「トビイロウンカ」が大発生し、各地域で大きな被害が確認されました。今後の気象条件によってトビイロウンカ以外にも様々な病害虫の発生が心配されます。収量や品質の維持向上のため、水稻の本田防除について計画的に実施をお願いします。

●今後の発生が問題となる主要病害虫と防除のポイント

1. いもち病

育苗箱処理剤(防人、フルスロトル、スクラムなど)の使用で処理時から出穂期ごろまで発生を抑えています。本田防除は必要です。薬剤の効果を高めるためには、発病前の予防散布がポイントです。穂ばらみ期(出穂前)と穂ぞろい期(出穂後)の2回防除が遅れないよう徹底してください。

2. 紋枯病

育苗箱処理剤(フルスロトル、スクラムなど)の使用で処理時から出穂期ごろまで発生を抑えています。本田防除は必要です。特に常習田(毎年発生)や中生品種では、7月以降気温が高くなると、紋枯病の発生率が高くなりますので、穂ばらみ期(出穂前)の薬剤散布で対策しましょう。

特に密植栽培、多肥栽培などでは茎数が多く株間が接近している場合は注意が必要です。(あきさかり等の分けつが多い品種や中生品種は特に注意しましょう)

3. ウンカ類

育苗箱処理剤(防人、フルスロトル、スクラムなど)の使用で処理時から出穂期ごろまで発生密度を抑えています。本田防除は必要です。薬剤の効果を高めるためには、発生初期の防除が大切です。

薬剤が水稻の株元まで十分かかるよう散布してください。(粒剤や豆つぶ剤をうまく利用しましょう)

4. カメムシ類(斑点米)

本田防除による対策が有効ですが、カメムシの生息地である「雑地」「畦畔」の管理も重要です。イネ科雑草(穂がつく雑草)が多いとカメムシ類の発生も多くなりますので畦畔管理を徹底してください。

畦畔の草刈りを行う場合は出穂14～10日前ぐらいまでに完了してください。(直前の草刈りはカメムシ類の被害を助長させる可能性があります)

※病害虫の発生状況の確認は、広島県病害虫発生予察情報を確認ください。

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/nougijutsu/yosatsu-joho3.html>)

●出穂前後の基幹防除時期と薬剤について

穂ばらみ期(出穂前)防除の時期は、出穂10～7日前頃、穂ばらみ期(出穂後)防除の時期は、70～80%出穂ごろとされていますが、詳しくは各JAの水稻栽培ごよみを確認ください。

【防除薬剤】 アミスタートレボンSE又は ノンプラスバリダントツフロアブル 【主な対象病害虫】いもち病、紋枯病、ウンカ類	【防除薬剤】 ダブルカットスタークルフロアブル又は ビームエイトゾル+スタークル液剤10 【主な対象病害虫】いもち病、カメムシ類、ウンカ類
主な出穂前(穂ばらみ期)防除剤 アミスタートレボンSE 【大型規格】5L(5ha分) 20L(20ha分) 【適用病害虫】いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類、シマクロヨコバイ 【登録使用時期】収穫14日前まで	主な出穂後(穂揃い期)防除剤 ダブルカットスタークルフロアブル 【大型規格】5L(5ha分) 【適用病害虫】いもち病、カメムシ類、ウンカ類 【登録使用時期】穂揃い期まで

〈お問合せ先〉肥料農薬課／豊田：TEL.082-846-4705



農業機械情報

① 共同購入トラクタ(中型)の購入生産者にインタビュー!!

令和2年12月から販売を開始した共同購入トラクタ(中型)。

購入いただいた全生産者を訪問し、この取り組みを改めて説明すると同時に、使い勝手などをお聞きする取り組みをすすめており、今後、営農通信でもその内容をお知らせします。

初回は、株式会社全農アグリサポート広島を通じて購入されたJA三原管内の横元さんをご紹介します。

■ 共同購入トラクタを知ったきっかけ、購入動機

29年間使用したトラクタを更新しようと思った時期に、株式会社全農アグリサポート広島の牧原担当より紹介を受けて存在を知った。低コストなので購入を決めた。

■ 価格面を含めて実際に使用された感想

同等機種と比べ、価格は安くて良かった。以前のトラクタに比べ、様々な面での性能が良くなった。特に、旋回の小回りが良くて助かっている。

■ 共同購入トラクタの主な使用目的、使用頻度

畜産農家なので、飼料用にイタリアンライグラスを栽培しており、フレールモアおよびロータリーを装着して活用している。

■ その他(ご意見・要望)

スマート農業など魅力ある農業経営を行い、地域に若者が増えて欲しい。



左から株式会社全農アグリサポート広島の牧原担当、購入いただいた横元さん、全農ひろしま東山担当



共同購入トラクタ(中型)の受付は令和5年3月(予定)までとなります。

ご興味ある方は、最寄りのJA農機センター・株式会社全農アグリサポート広島までお問合せください。

※ご注文をいただいてから納品まで3ヶ月かかりますので、お早めにお申し込みください。

● JAグループ共同購入トラクタとは ●

共同購入トラクタの取り組みは、生産資材コスト低減に向けたJAグループ自己改革の一環です。全国1万人以上の生産者の声を反映し、機能を選りすぐり、全国でまとめて注文することでメーカーの製造、流通を効率化し、製造コストを削減しています。



② シーズン前のセルフメンテナンス(コンバイン)について

農業機械は使用する時期が年間を通じて限られており、作業・修理時期も集中するので、早めのセルフメンテナンスを行い、シーズン中のトラブルや農作業事故の軽減に努めましょう。

稲刈りの適期を逃すと倒伏や収量減・品質低下(胴割米等)の原因となります。

セルフメンテナンスを実施する際は、銘柄や型式により各点検項目の場所が異なる場合がありますので、取扱説明書で確認をお願いします。

また、作業に適した服装で実施し、安全面に十分留意してください。

農作業を安全に行うために!

ワンシーズン安心して
ご使用いただくため、
点検・整備が必要です

シーズン前に
セルフメンテナンス
を行いましょう!

刈刃の点検・交換

脱穀部の点検・調整

走行部の点検・調整

カッター刃の点検・調整

シーズン中のトラブル防止
農作業事故防止

エンジンオイル交換

ベルト・チェーンの
点検・調整

〈お問合せ先〉 農業機械課 / くにひろ

TEL.0824-62-3103